

国際農学 ESD 若手研究者教



国際農学 ESD の大きな目的は、大学院生・若手研究者の交流です。この目的を達成するために、ポスターセッションやフォーラムが開催されました。このプログラムに参加した大学院生に感想を書いてもらいました。



Ag-ESD シンポジウムのポスターセッションに参加して

茨城大学大学院農学研究科地域環境科学専攻
草加英利奈



筑波大学での Ag-ESD シンポジウムのポスターセッションは、海外招聘者の方に直接審査してもらえたり、他分野の先生方から意見を頂けたりと、とても貴重な時間でした。なかでも、研究分野が違う人々が集まっていたことで、自分では気付くことができなかつた問題点や、研究の方向性といったものを指摘されたのが刺激的でした。また、私は ESD を研究しているので、今回 ESD に関わりのある海外の専門家やユネスコの代表者と意見交換をすることができたのが、参加していて一番の収穫ともいえる出来事でした。こういった場は自分の勉強になるだけではなく、新しい人脈を広げる場でもあるので、多くの人に参加できるようになればいいと思います。



教育プログラム

Program for Young Researchers



Ag-ESD シンポジウムのポスターセッションに参加して

茨城大学大学院農学研究科地域環境科学専攻

白田 薫



筑波大学で開催されたAg-ESDシンポジウムのポスターセッションでは、とても貴重な経験をさせていただくことが出来ました。学会や学内での発表では、専門分野・専攻の違う研究者・学生の方と議論をしたり、意見を頂いたりする機会はあまりなかったので、本シンポジウムでは新しい視点からの指摘を沢山得ることができました。また、他の研究発表を見る時間も沢山あったため、普段中々関係しないような研究分野のお話を聞いたことも大きな収穫でしたし、高校生の皆さんが堂々と発表していたことも、良い刺激となりました。

海外の研究者の方には、自分の拙い英語でどこまで研究の内容を理解して頂けたかは不安ですが、とても楽しく有意義なシンポジウムでした。

Young Researcher's Forumに参加して

筑波大学大学院生命環境科学研究科

堀金麻理



今回2008年度国際農学ESDシンポジウムに参加し、発表の機会を得たことを嬉しく思います。また、発表についてBest Presentation Awardを頂き、非常に光栄に思っています。今回のシンポジウムでは、自分の研究と持続可能な農業とのつながりを考える上でよい機会となりました。私の研究はすぐに農業の改善に直結するわけではありませんが、その先に応用を捉えながら研究を進めることの大切さを改めて感じました。また、様々な分野で持続可能な農業を目指す研究に触れることができ、自分の中の概念との差を感じました。今回のシンポジウムのように、異分野の交流を通してより良い研究や、よりよい社会になっていくといいと感じました。

